

## 『深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書』第三集発刊によせて

春光山圓覚寺副住職 海浦 誠観

このたび、「深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書第三集」が刊行されますことに、関係各位の御労苦に衷心より御礼申し上げます。

今年は特別公開講座がインターネット配信で開催されました。登壇なされた東京大学名誉教授・末木文美士先生を始め、大正大学・渡辺麻里子先生、弘前大学・原克昭先生、尾崎名津子先生の御講演も盛大に行われましたことは、大変有り難く感謝の言葉もございません。

円覚寺の古典籍保存調査は単なる一寺院の古文書調査にとどまらず、思いがけなく津軽一円の仏教伝播の詳細についても明らかにする資料となったことは驚きに耐えません。

調査方法においても、県内の大学生・高校生・一般市民が実際に古典籍を「目で見て」「手で触れて」「臭いを感じ」とふだんは経験できない大変貴重な学習体験となるプログラムになっています。

それもひとえに調査に当たる先生方の取り組みによるもので、全国でも類を見ない調査方式で各方面から注目を集めていると伺っております。

書写をした古典籍を介して、いにしえ人の魂のメッセージを全身で受け止める体験を、研究者のみならずこれからも多くの人に味わっていただくという諸先生方のお考えに心より感動し、また有り難いことだと感謝申し上げます。

結びに当たり「深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書第三集」刊行の編纂に携わってくださった皆様様の御労苦に衷心より感謝申し上げます。